



**道南畜産共進会(肉用牛の部)**  
**最高位受賞! 村瀬 一人さん**

# 第54回 今金町畜産共進会

7月13日、第54回目を迎える今金町畜産共進会が開催されました。

当日は乳用牛20頭、黒毛和種牛26頭の合計46頭が出陳され、生産農家の日頃の研鑽努力による改良成果が披露されました。

審査は厳格公正に行われ、乳用牛の部では、未經産牛で「クリサンスシヤルブラッドドアーズ」(出陳者・菊地章太さん)、經産牛で「インマヌエルアツトウツドエアロスター」(出陳者・山崎良介さん)が、肉用牛の部では、未經産牛で「かつら」(出陳者・諸戸邦吉さん)、經産牛で「ぐりりん」(出陳者・木島隆浩さん)がそれぞれ最高位を受賞しました。



賞名	名号	出陳者	
乳用牛未經産	グランドチャンピオン	クリサンス シヤル ブラッド ドアーズ	菊地 章太
	リザーブチャンピオン	クリサンス エルメン DM ファン バستن	菊地 章太
乳用牛經産	グランドチャンピオン	インマヌエル アツトウツド エアロスター	山崎 良介
	リザーブチャンピオン	クリサンス エルメン スパーク ジジ	菊地 章太
黒毛和種未經産	最高位	かつら	諸戸 邦吉
	準最高位	きり23	村本 智之
黒毛和種經産	最高位	ぐりりん	木島 隆浩
	準最高位	ななゆり	佐藤 弘一

## 種子馬鈴薯防疫検査が無事終了しました



日本一の「今金男しゃく」の元となる種子馬鈴薯の防疫検査が行われました。第一期は大雨の影響で中止になりましたが、第二期は7月4日、第三期は7月19日に実施され、全筆合格しました。原種、採種それぞれから圃場が抽出されウィルス株、アブラムシ、植物検診、土壌検査が行われました。

春から優良種子生産に向けて何度も圃場を巡回してきた生産者の皆さん、抜き取り等指導に当たられた補助員もほっとされた事と思います。今後自主検査の実施など厳格な検査を行い、先輩諸氏の努力により現在の地位を築いた「今金男しゃく」の名声を維持、向上させる為に収穫まで気を緩めずに生育管理・環境整備をお願いします。

## ミニトマト振興会 目揃え会を実施



7月20日、今金町ミニトマト振興会が本格出荷の前に目揃え会を行いました。目揃えの実施、市場視察の報告の他、生産者毎に出荷の際計量に使用している「台はかり」に誤差がないか分銅でチェックを行いました。その後、参加者全員が班に分かれGAPの一斉巡回点検を行いました。

## 檜山北部広域ブロッコリー部会 目揃え会を実施



7月19日、檜山北部広域ブロッコリー部会が目揃え会を行い、生産者・関係者合わせて約60名が参加しました。目揃え会では現在の選果状況や品種ごとの品質、市況、出荷の際の注意事項等について担当者から説明が行われました。また、市場の方からは情勢報告、普及センターからは病害虫防除について情報提供が行われました。

## 道南畜産共進会 肉用牛の部が開催されました



### 各部別 1 等入賞結果

部 別	名 号	出 陳 者
第 1 部	みその	村瀬 一人
第 2 部	ななえ	村上 寛明
第 3 部	ききこ	佐藤 弘一
第 4 部	ななゆり	佐藤 弘一
第 5 部	ゆりはる	境田 哲哉

7月27日に、ホクレン主催の第64回道南畜産共進会（肉用牛の部）が、八雲町畜産共進会会場で行われました。

審査員には北海道酪農畜産協会の栗生要氏が努め、渡島・檜山管内から、が出陳された16頭（内、今金から10頭）の肉牛が品位や体格、毛並み、皮膚の弾力性を競いました。

審査は厳格公正に行われ、未経産（生後14ヶ月未満）において、「みその」（出陳者・村瀬一人さん）が最高位の栄冠に輝きました。

乳用牛の部については、8月22日に行われます。詳細は次号で掲載する予定です。

## 役員コンプライアンス研修を開催



7月29日、役員と幹部職員を対象としたコンプライアンス（法令順守）研修会を開きました。JA北海道中央会の小岡広幸札幌支所長を講師に招き、「農協改革」について説明が行われました。

農協の現状や改革の方向性、ポイント等を提示し、理解を促しました。

## 早出馬铃薯振興会 目揃え会を開催



今金町早出馬铃薯振興会は、7月27日に目揃い会を開催し、生産者約20名が参加しました。

当日は、市場視察の報告や販売担当職員より出荷基準などの説明があり、消費者に喜ばれる商品出荷に向けて意見を交わしながら、目揃いが行われました。

## 理事会報告

### 第10回理事会（平成30年7月30日）

#### ◆報告事項

1. 農業委員会総会報告について
2. 第一委員会報告について
3. 種子馬铃薯第一期く第三期防疫検査の結果について
4. 農畜産物の販売状況及び生育状況について
5. お盆期間中の業務について
6. コンプライアンス講習会の実施報告について
7. 顧客属性照会システムの定期結果報告について
8. 大口供与（5千万超）理事会決定に係る経営状況の定期報告について
9. 今金町畜産共進会結果報告書について
10. 内部審査結果報告について
11. 監事協議会総会及び研修会報告について

#### ◆監査報告

#### ◆議決事項

- 議案第1号 平成30年農畜産物の栽培・管理等及び農産物の取扱について
- 議案第2号 てん菜立会人について

# 8月の営農対策

( ) は、7月15日作況調査の平年値との遅速日数

今後の農作物管理	
水稲	<p>水稲(遅3) 生育が遅れていますので、登熟を含めた生育促進を！ ◎病害虫防除 くいもち病&gt; 基幹防除は①出穂期と②その7~10日後。 くカメムシ類&gt; 乳熟期を中心に防除を徹底。残効の長い薬剤を使うことで出穂期から7~10日後の1回防除が可能。その後は予察に基づく追加防除をご検討下さい。 ◎適切な水管理 ・出穂・開花時は水が必要 ⇨ 開花中は3cm程度の浅水で湛水状態を保ちましょう。 ・間断かんがいの実施 ⇨ 開花終了後は”間断かんがい”を実施します。落水後の入・排水と収穫作業円滑化のため、”溝切り”を実施しましょう。 ・登熟後半の土壤水分の維持 ⇨ 落水の目安は出穂後25日目頃(穂かがみ期)ですが、落水後は天候やほ場の状況に応じて適宜”走り水”を行う。(土壤水分が不足すると、枯上りが早く倒伏につながります) ◎育苗床土の培養 土壤診断により必要な改善(酸度矯正、養分バランス調整等)を図りましょう。気温の高い8~9月に行う。</p>
小麦	<p>秋まき小麦 ・9月は次年度のは種が始まります は種前に土壤診断を行い、土壤pHを確認し極端に低いほ場は、炭カルなど石灰質資材で矯正しましょう。生育期間中に低pHによる障害が出てしまうと、対処の方法が難しく施肥効果が半減します。 ・は種機の調節を行いましょう！！ 「きたほなみ」は茎数が増加しやすく、適期・適量は種が重要です。は種作業の前に、は種機のは種量調節のダイヤルを調節して、適量は種を行いましょう！！</p>
馬鈴薯	<p>露地ばれいしょ(早2日) ・茎葉処理について デシカン乳剤の使用法、使用基準を守りましょう。土壤が極端に乾燥しているときは避け、朝露の無い時間帯に、茎葉にムラなく散布しましょう。 ・収穫作業について キズや打撲といった機械作業による規格外の発生が増えています。収穫前に収穫機械の調節・整備、特に緩衝材部分の調整を行いましょう。また、収穫時にコンベヤの回転速度・掘り取り刃の深さを調節しましょう。 茎葉処理後10日以降、ほ場が乾いた晴天の日に収穫作業を行いましょう。寒い日に行くと打撲が多くなります。収穫後のいもは、風通しの良い光の当たらない場所に置きましょう。JAで行う収量調査結果を参考にして作業を進めてください。 早出しばれいしょ(早3日) ・収穫作業について 皮剥げを防止するため丁寧に収穫し、品質の良いばれいしょの出荷に努めましょう。</p>
豆類	<p>大豆(±0日) ・品種に合わせた病害虫防除 黄大豆では紫斑病が黒大豆ではべと病が子実病斑を形成し問題となります。べと病は、風通しが悪いと発生しやすくなります。生育と発生状況を観察し、適期防除に努めましょう。 ・マメシンクイガ 早めの防除を！ 近年全道的に発生が増え、被害が増えています。大豆連作ほ場や昨年の大豆作付ほ場に近しいほ場では特に注意し、早期にローテーション防除を実施しましょう。 小豆(遅6日) ・病害虫の防除 病害の発生や今後の天候に十分注意し、防除を行いましょう。 ・マメアブラムシに注意！ マメアブラムシは、黒色で集団寄生するのが特徴です。ほ場をよく観察し、早期の防除に努めましょう。 ・病害の防除(灰色かび病・菌核病) 今後茎葉が繁茂し、病害の発生・蔓延の恐れがあります。病害の発生状況を確認し、早期防除を実施しましょう。</p>

今後の農作物管理	
てんさい	<p>てんさい(±0日) ・病害虫の発生に合わせた防除 ほ場をよく観察し、病害虫の発生状況に注意しましょう。褐斑病の発生が目立ちます。早め早めの防除を心がけましょう。 ヨトウムシは若齢幼虫のうちに早めの防除を、ハダニは発生を確認したら、すみやかに防除を行いましょう。 ・育苗土の準備 病害虫が発生する恐れのない腐植に富む土を準備しましょう。 pH矯正目標は6.0~6.5です。土壤pHを測定し、必要に応じて石灰質資材で矯正しましょう。</p>
畜産	<p>牧草(遅12日) 飼料用とうもろこし(遅6日) ・自給飼料の品質管理 1番草の収穫時期は平年より遅く、乳牛の嗜好性低下による粗飼料摂取不足がみられた場合は、代替粗飼料の給与や繊維成分の高い単味飼料等で不足分を補いましょう。 放牧草の8月以降の再生量は、大きく減少します。放牧牛の栄養確保のため、面積を広げたり、乾草などを併給しましょう。 牧草の葉色が薄くなるなど養分不足が認められる牧区は、混牧と同時に施肥をしましょう。施肥量は10a当たり窒素量で2~3kg程度とする。 ・2番草の刈取り オーチャード主体草地は40~45日をを目処に刈取りを進めましょう。チモシー主体草地の刈取り適期は、1番草刈取り後50~55日ですが、マメ科率15%以上で1番草を早刈りしたほ場や、中・晩生種主体のほ場は、55~60日程度の生育期間を確保しましょう。 ・草地の追肥 オーチャードは8月下旬に新芽の発生や分けつを行います。収量性向上のために、この時期に適正な追肥をしましょう。チモシー主体草地では刈取り後5~10日頃を目安に施肥を行いましょう。 ・サイレージ用とうもろこし 生育が遅れると登熟の遅れにつながり、TDN収量の低下が予測されます。冬期間の飼料給与計画を検討しましょう。</p>
園芸	<p>ブロッコリー 花蕾腐敗病対策として、花蕾形成期(1cm)前後を中心とした防除体系を組みましょう。 また銅剤を使用する際は、高温期の葉害に留意し、葉害軽減剤(クレフノン)の混用をしましょう。 だいこん・こかぶ コナガの発生が多い時期になっています。系統の違う剤によるローテーション防除を行いましょう。 にんじん 生育後半期の黒葉枯病の発生に留意し、長雨が予想される場合には、早期の防除体系を組みましょう。 軟白長ネギ スリップス類の発生に注意し、ハウス周辺の雑草処理と適切な防除体系を組みましょう。</p>

檜山農業改良普及センター 檜山北部支所  
TEL 0137-84-5514  
FAX 0137-84-5596  
E-mail hiho-nokai-hokubu.11@pref.hokkaido.lg.jp



J Aグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

J A北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBSITEをご覧ください。

## J A北海道中央会

7月2日、平成31年度農業関係予算概算要求に向けた農林水産省との意見交換会を、4～5月にかけて各地区から寄せられた現場の意見を踏まえ、6月の各作目別対策委員会等で決定した、J Aグループ北海道の政策提案に基づき行いました。

J Aグループ北海道からは道連役員、J A組合長、青年女性組織代表者ら143名が参加し、農協組織基盤、基本農政、水田、畑作青果、酪農畜産の各対策について要望内容を農林水産省に伝え、意見交換を行いました。

今後も持続可能な北海道農業確立に向けて、生産現場の意見をしっかりと国等に伝えて参ります。



## J A北海道信連

J Aバンク北海道は、特殊詐欺被害が多発している現状を踏まえ、北海道警察と連携し被害防止への取り組みを実施しています。6月に実施した「年金感謝ウィーク」では、J Aで年金をお受け取りされているお客様が来店した際、特殊詐欺に関する注意喚起の標語を印刷した「招福ようかん」をお渡ししました。また、ラジオ番組では電話でお金を要求された際に家族や警察に相談することを幅広く呼び掛けています。



## ホクレン

ホクレンのオリジナルブランド玉ねぎ「環（※めぐる）」と「真白（※ましろ）」の売り上げの一部が活動に役立てられているコープさっぽろの事業「第11回コープの森植樹祭」が、今年も5月から6月にかけて全道11カ所で開催されました。環と真白1パック購入ごとに1円を「コープ未来（※あした）の森づくり基金」に協賛しており、2017年度は、約63万円の実績となりました。



## J A共済連北海道

J A共済連では、7月8日に札幌ドームで開催された「北ガスグループ6時間リレーマラソン」に有志34名が参加しました。他の企業も多数参加しており、J A共済連では「ひと・いえ・くるまの総合保障」を掲げ、職員が揃いのTシャツを着て一生懸命走ることで、J A共済を大きくPRしました。

今後もこのような活動を通して多くの皆さんに「J A共済」を知っていただくよう活動していきます。



## J A北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様 の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



国が支える

積立方式で  
安心

老後の備えとして

# 農業者年金

次の3つの要件を満たす方であれば、どなたでも加入できます。

年間60日以上  
農業従事

国民年金1号  
被保険者

国民年金保険料  
納付免除者を除く

60才未満



## 農業者年金の特徴

- 積立方式で安心
- 加入・脱退も自由
- 保険料は全額社会保険料控除
- 保険料はいつでも変更できる
- 農業の担い手には保険料補助
- 終身年金 80歳までの死亡一時金あり

詳しくは…   <http://www.nounen.go.jp>

農業者年金の内容やご相談のお問い合わせは

JA今金町 金融部 貯金融資課 TEL: 0137-82-0211

JA広報いまかね 511号 ホームページ <http://ja-imakane.or.jp/>

発行: 今金町農業協同組合 住所: 北海道瀬棚郡今金町字今金 141 番地 電話: 0137-82-0212(直通) 編集: 営農部農業経営課 印刷: 今金はやし印刷社